

教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校)

実践年度・タイトル		平成28年度
		生活単元学習でのスマートフォンの学習
授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合は他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input checked="" type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	生活単元学習「社会人になるために」～スマートフォンの使い方～
	授業の目標	・スマートフォンの基本的な操作方法について理解することができる。 ・スマートフォンを使うときに気をつけることについて知ることができる。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	<input checked="" type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input type="checkbox"/> 「技能」 <input checked="" type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他()
学習集団と子どもの実態	学校・学部・学年・人数	■特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 高等部2年 8人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子どもの課題 (特性・ニーズ)	<input type="checkbox"/> 見る <input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 日常生活活動 <input checked="" type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 多動性・衝動性 <input checked="" type="checkbox"/> 社会性・コミュニケーション <input checked="" type="checkbox"/> 覚える・理解する <input type="checkbox"/> その他 ・対象の生徒が知的障がいのある生徒であり、障がい特性から対人的なコミュニケーションや、社会体験の少なさに課題が見られる。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	・androidタブレット(acer ICONIA Tab A500) ・Webサイト(「4コマ・スマホモラル」 http://spm.oct-kun.net/sp/4koma.html)
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input checked="" type="checkbox"/> C3社会生活支援) 卒業後の生活を想定すると、ほとんどの生徒がスマートフォンを所持して生活することが考えられるため、スマートフォンの基本的な操作や機能について学習したり、情報モラルの観点からの事例を通して、使用上の注意事項や正しい判断の仕方について学んだりする。
授業に授け展開支援	授業展開と画像 (授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。)	<題材説明> <input type="checkbox"/> 「スマートフォンの使い方」の学習内容を説明。 「スマートフォンを操作してみよう!」 ・「タブレット」をTVに接続してカメラで撮影した画像を提示しながら、操作方法を説明する。 ・「タップ」、「フリック」、「ピンチイン、アウト」の操作について各生徒が実演する。 <input type="checkbox"/> 「スマートフォンで気をつけること!」を説明。 ・「スマートフォンを使う上での危険な事例」をプレゼンテーションソフトで提示しながら、具体的な対応の方法を説明する。 ・「バケット代」や「アプリの利用」、「個人情報について」を提示する。 ・それぞれのケースに応じて、判断する方法を伝える。 ・各生徒がプリントで解答を記入し、教師がプレゼンテーションソフトで解答を提示する。 <input type="checkbox"/> 次時の説明、終わりの挨拶
	子どもの様子や変容および授業の評価	・タブレットの操作方法を初めて体験する生徒も多く、写真を思い通りに動かしたり、拡大・縮小などの動きを何度も繰り返したりするなど、興味・関心の高さが見られた。一方で、「バケット」などの用語は知らない生徒も多く、使い過ぎによる課金等の説明の際には、実感が分かない様子も見られた。 ・情報モラルの授業の前に基本的な操作方法や用語の学習をするなど、系統的に整理し指導していくことが効果的であると考えられる。 ・教材としては、スマートフォンの実機を使用できれば、より具体的に体験活動が行えるが、今回は10.1インチサイズでのタブレットを使用した。操作のしやすさという観点では適切な大きさであった。